

2024年度

小学生・中学生の 人権作品集

なかま

会長賞



飯野小 6年 やました 山下 かすみ 花純

会長賞



岡田小 3年 ながもり 永森 わく 和空

会長賞



南中 3年 おおひら 大平 はるか 春花

会長賞



城乾小 6年 かさい 葛西 もね 百音

会長賞



城西小 6年 やまもと 山本 ゆりな 結莉奈

会長賞

標語

つなげよう 愛と理解で 人権の輪

東中 2年 くさなぎ 草薙 みら 美良

優秀作品



東中1年 しげき ひなの
茂木 陽菜乃



西中2年 かわにし みお
川西 美緒



南中3年 とだ ちひろ
渡田 千裕



本島中2年 きたわき あかね
北脇 茜



綾歌中3年 やの ゆきな
矢野 倅菜



飯山中1年 ふきた あいこ
吹田 愛子



城乾小4年 なかがわ まりも
中川 まり萌



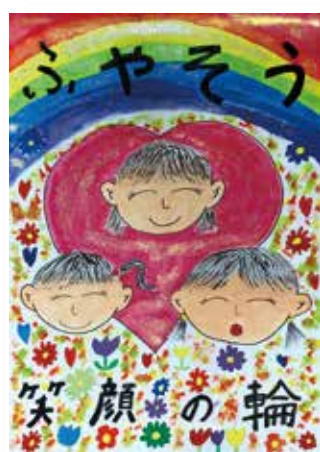
城坤小6年 やすなが さな
安永 早那



城北小3年 さくだ ゆうせい
佐久田 結生



城西小2年 おかもと きょうた
岡本 恭汰



城南小3年 しのはた あんな
篠畑 杏奈



城東小2年 ふじわら ゆずは
藤原 ゆず花



富熊小 6年 とよた み お
豊田 望桜



本島小 5年 たかはし そうすけ
高橋 蒼介



飯山南小 6年 あしだ りゅう
芦田 龍勇



飯野小 4年 やました な み
山下 菜美



垂水小 2年 みや い ゆづき
宮井 柚月



城辰小 4年 たかしま しりゅう
高嶋 獅竜



栗熊小 2年 よしざき はるか
吉崎 遥



岡田小 1年 ささき うた
佐々木 珠歌



郡家小 2年 こばら あやと
小原 彩豊



飯山北小 5年 みやもと りく
宮本 龍玖

①障がい者のための 国際シンボルマーク

障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。

このマークは「すべての障がい者を対象」としたものです。特に車椅子を利用する方に限定し、使用されるものではありません。

②ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。

ヘルプマークを身につけた方を見かけたら、席を譲ったり、状況に応じて声をかけたりするなどの配慮をお願いします。また災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

③ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。身体障がい者補助犬とは、身体に障がいのある人の目や耳、手足となって働くよう訓練された盲導犬・介助犬・聴導犬の総称です。

公共施設や交通機関、スーパー、レストランなどの民間施設は、補助犬同伴を受け入れる義務があります。補助犬はペットではありません。社会のマナーもきちんと訓練され、衛生面でもきちんと管理されています。法律や補助犬へのご理解とご協力をお願いします。

優 秀 作 品



城乾 5 小年 こが まり
古閑 愛梨



城坤 6 小年 あいはら いっしん
相原 一心



城北 4 小年 たなか ひろゆき
田中 裕行



城西 5 小年 うつ み ゆい
内海 結彩



城南 5 小年 そうま ゆ わ
相馬 佑羽



城東 6 小年 よこぜき ふな
横関 芙南



城辰 4 小年 かまもと あや か
釜本 彩加



本島 5 小年 たかはし そうすけ
高橋 蒼介



郡家 6 小年 なかにし あや な
中西 絢菜



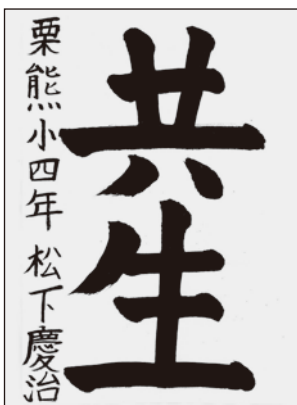
飯野 6 小年 やまもと り お
山本 里桜



垂水 5 小年 うえたに えい た
植谷 永太



富熊 6 小年 しょうじ みの り
小路 実璃



栗熊 4 小年 まつした けい じ
松下 慶治



岡田 4 小年 やま じ み おん
山地 美音



飯山南 6 小年 おおうら ち ひろ
大浦 千弘



飯山北 6 小年 たにぐち ゆう と
谷口 優斗

会長賞

理不尽がきらい

城西小

五年

楠

隆之介

くすのき りゅうのすけ

人権とは「人間が生まれながらにしてもった人間らしく生きる権利」とある。

国や文化がちがえば、容姿や考え方は様々ではあるが、一人ひとりの「人間らしく生きる権利」を否定せず、お互いに認め合うことはとても大切な。

ロシアとウクライナで戦争が始まってもう二年半が経過している。初めてテレビでそのニュースを見たとき、本当に今、ぼくの生きているこの時代に起こっていることなのかと信じられない気持ちでいっぱいだった。「早く終われ、早く終われ。」とニュースを見るたびに願っていた。しかし、月日とともに関心はうすれていき、「まだやっている。終わりは来るのだろうか。」とうつすらと思うだけになっていた。

先日、母の誘いを受けて、「ウクライナからの写真展」に行った。ここでは主に医療機関で働くスタッフたちが、自分たちのスマートフォンで撮った写真がコメントと共に展示されていた。ぼくが一番しようにぎを受けたのは、ロシアがウクライナの医療機関を標的としていることだった。すでに病気やけがで苦しんでいる人を更に傷つけている。また、その攻撃を受けた病院で生まれた赤ちゃんの写真もあった。生まれたばかりの赤ちゃんの人権がすでに侵されている。安全な場所でご飯を食べ、遊んで学んで、安心してねる。こんな当たり前の生活が、生まれた時からおびやかされている。本人になん

非もないのに、とても理不尽だと感じた。

今年、オリンピックが開催された。ぼくはスポーツが大好きなので、毎日様々な競技をテレビで応援したが、一つ気づいたことがあった。ロシアという国が参加していないのだ。ロシアには長身な選手が多く、活躍している姿をよく目にしたが、今年はその姿がない。調べてみると、「平和な社会の推進」を理念にかかげるオリンピックには、平和に反する国は出場できないとあった。

そこでぼくは思った。今までウクライナ側の立場から考えることが多かったが、ロシアの人の人権はどうなのかと。ウクライナの人を代表し、その活躍を応援してくれる人がたくさんいる一方で、ただロシア国民だというだけで国を背負って出場する機会を与えられない。これは不平等ではないか。

全世界の人が、平等に、平和に生きるということは現時点ではむずかしいかもしれないが、少しでも平和な未来をつくるために、ぼくは一人ひとりの人権を否定しないことが大切だと思う。理由もなく、力づくでおさえこもうとしても、反発を買うだけだ。お互いに尊重しあい、相手の立場に立つて物事を考える。簡単ならぼくは意識して、相手を否定することなく、相手を受け入れ、理解していきたいと思う。

会長賞

おとうとの大せつな足

岡田小

二年

富岡こころ

とみおか こころ

わたしのおとうとは、生まれた時にびょう気が見つかり、いのちをまもるために手じゅつをして、左足がなくなりました。でも、すぐに、びょういんの人たちがぎ足というものを作ってくれました。おとうとは、そのぎ足をはいて生活しています。

おとうとがぎ足をはいて、家ぞくでこう園にあそびに行ったときのことです。おとうとの足を見て、「こわい。」「かわいそう。」「あんな足いやだ。」と言う声が聞こえてきました。わたしや家ぞくはすごくかなしい気もちになりました。

おとうとは、びょう気が見つかった時、おいしやさんから「歩くことはむずかしいかもしれない。」と言われました。でも、おとうとはびょういんでも家でもほいくしよでも歩くれんしゅうをしました。ころんでもころんでもがんばりました。今では友だちと一緒に歩いてえん足に行ったり、おにごっこをしたり、すべり台をすべることもできます。

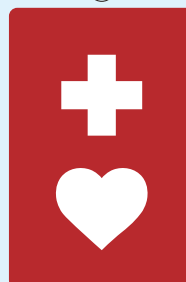
わたしたち家ぞくは、こうべで行われたあるイベントにさんかしました。そこでは、ぎ足の人がたくさんいて、一しよに走ったり、ゲームをしたりしました。そのイベントではぎ足の人にだれかがかなしい言ばを言うこともなく、みんながにこにこしていて、わたしも一しよにゲームをさせてもらって、とてもたのしかったです。パラリンピックに出ているアメリカのせん手もいて、りょう方がぎ足の足でした。その人がものすごいスピードではしっていくのを見て、「ぎ足ってかっこいいな。」と思いました。

おとうとのぎ足は、こわいものでもかわいそうなものでもありません。おとうとにとって大せつな足です。もっとたくさんの人にぎ足を知ってもらい、自分と見た目がちがうからといって、かなしい言ばをかける人がいなくなればいいのになと思います。

①



②



③



知っていますか?
このマーク



祖父から教えてもらったこと

西中 二年 潮 さゆり

私が小学生の時、「生きること」、「命の尊さ」を意識した出来事がありました。それは祖父の死です。私が記憶にある祖父は、何年もの間、パーキンソン病という病と闘っていました。四肢の筋肉が固くなっている病気で、会話もなかなか難しく歩くのも大変そうでした。

帰省した際には、時々祖父達と一緒に外食や公共施設に出かけていました。ある夏の日に、いつものように祖父達と道の駅へ出かけました。私は、杖をつきながらゆっくりと歩く祖父を後ろから見守りながら歩いていました。入り口の自動ドアにさしかかった時、後方から若い男性が近づいてきました。祖父を含めた複数人で歩いてきたこともあるかもしれませんが、遅いことにイライラしているようで舌打ちや咳払いをしてきました。

避けようとしたが細い通路だったので、なかなかスムーズに避けることができずまごついてしまいました。そうすると、また明らかに不機嫌そうな顔と態度でこちらを見てきました。なんとか避ける事が出来ましたが、申し訳なさそうにしている祖父母を見てとても悲しい気持ちになりました。

誰もがいつ病気やケガなどで、動きにくくなるか分かりません。誰もが歳をとると、若い頃より動作がゆっくりとなる時があると思います。不機嫌な顔をしたあの人はそのことを想像出来なかったのでしょうか。小さな思いやりを持つことでお年寄りや困っている人たちも過ごしやすいものではないでしょうか。

それから数年経ち、世の中ではコロナが流行り祖父となかなか会うことができなくなりました。会えない間に病気が進行していき、歩くことができなくなり病院のベッドで寝たきりとなってしまいました。それでも、会うと眼光鋭い眼差しでしっかりと私の顔を見つめてくれました。言葉はないですが、とても生命力に満ちているように感じました。あきらめず懸命に生きること教えてくれていたように感じました。数ヶ月後、父から祖父が亡くなった事を聞きました。会えなくなつてからそれほど時間が経っておらず、とても驚きました。自然と涙が溢れてきて止めることができませんでした。またいつでも会えると思っていたので信じられない気持ちでした。

葬儀の時、会場にいた女性が私と妹に向かって「まだ小さいから分からないよね」と話しかけてきました。悪気はなかったと思います。しかし、私は祖父が懸命に生きようとしていたこと、生きる姿勢を感じさせてくれたことは十分に理解できていました。そのため、女性の言葉にとっても傷つきました。

別れの際の祖父の顔は、すごく痩せていて小さくなったように感じました。懸命に病氣と闘っている姿、努力している姿が忘れられませんか。生きる事の素晴らしさや大切さを身をもって教えてくれたように思います。

一日一日を大切に、他者への当たり前の権利を思いやり生活していきたいです。

優秀作品

【作文】小学生

「人けん」ってなんだろう
人に優しく
いじめをなくすために
おそろしいインターネット
かっこいい人になりたい
命のバトン
わたしはお姉さん
戦争のない平和な世界を
ぼくのだいすきなかく
みんなちがうこと
ちがいを分かりあえること
せかいのことを知って
私のいとこはぎ足
え顔のおうえんがかり
七本ゆびのピアニストってどんな人？

城坤小3年 喜井 美仲
城北小6年 田口 珠梨
城西小6年 渡邊 こと
城南小6年 乗松 朋葉
城東小2年 植松 真由
城辰小6年 岡田 音穂
本島小2年 杉岡 咲月
郡家小5年 芥川 大史
飯野小1年 葛原 涼白
垂水小5年 宮野 貴徳
富熊小3年 高尾 海匡
栗熊小2年 新居 佑真
岡田小4年 志摩 羽愛
飯山南小3年 池田 陸人
飯山北小3年 ながとも 聖

【作文】中学生

平和な世界を作るためには
思いやりと言葉と私
自分らしく輝ける社会へ
人権
「普通」って何？
ふくし学習を通して学んだこと

東中3年 みやけ やまと 三宅 大翔
西中2年 やまじ な 山地 咲菜
南中1年 もり ねいろ 森 音色
本島中3年 すぎおか と わ 杉岡 叶羽
綾歌中2年 うじけ ひより 氏家 陽向
飯山中3年 ささき けい や 笹 恵也

【標語】中学生

多様性 みんなでつくろう 笑顔の国
どこにでもひそむ 偏見の壁 乗り越えよう
いじめとは 結局自分を いじめてる
自分も大切、相手も大切。みんな同じ命。
やめようよ 多様性と言いながらの 違い探し

東中3年 ふじ い ちも か 藤井 李花
南中3年 と だ ち ひろ 渡田 千裕
本島中1年 くぼた か え 窪田 花笑
綾歌中2年 と 土岐 かいせい 土岐 皆晴
飯山中3年 だんばら あいる 檀原 愛留

日頃、子どもたちが一生懸命取り組んでいる人権学習の成果を発表していただくために、今年も市内の小学生・中学生から人権作品を募集し、ポスター119点、習字79点、作文49点、標語29点の応募がありました。どの作品にも、人権尊重と差別解消を強く訴える姿勢がうかがわれ、また、日常生活において日頃考えていることや、直接感じた人権問題が若い感性を通して表現されています。そのなかの会長賞と優秀作品を紹介いたします。